

令和5年度（2023年度）

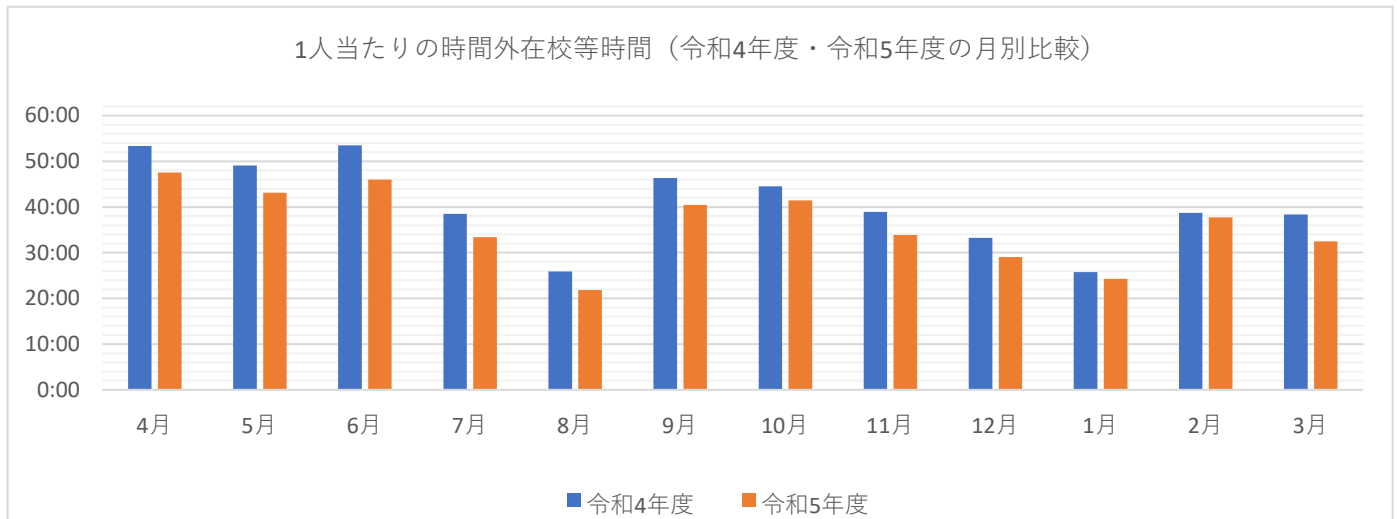
富良野市立学校の教職員に係る時間外在校等時間（超過勤務時間）の状況について

●期 間：令和5年(2023年)4月～令和6年(2024年)3月

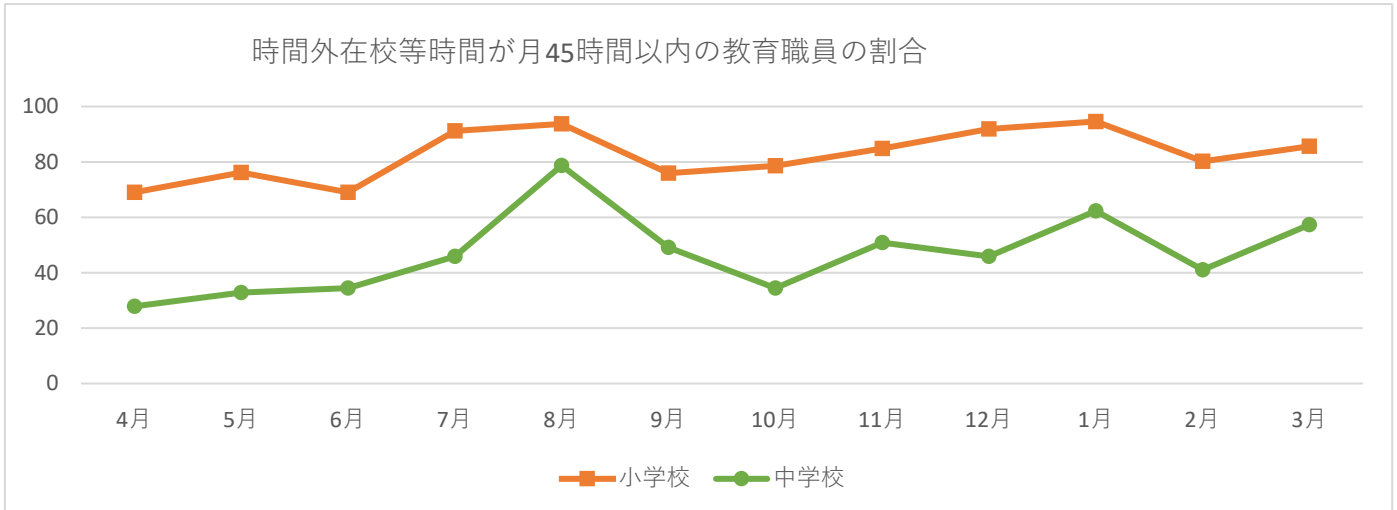
●対 象 校：富良野市立の小学校8校（義務教育学校前期課程含）、中学校5校（義務教育学校後期課程含）

●対象職員：教育職員（校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭）

1 月別の時間外在校等時間の推移について



2 校種別の時間外在校等時間が月45時間以内の教育職員について



3 調査結果を踏まえた課題について

●令和5年度の教育職員の時間外在校等時間（1人当たりの平均値）は、月45時間を超えた月が2カ月あったが、令和4年度と比べて、すべての月で減少した。

●各校種において働き方改革が進んでいると考えられるが、中学校では年度当初の4月と中体連等の大会がある5月・6月、学校祭等がある9月・10月で在校時間が増えている教育職員が依然として多い。

●年間の時間外在校等時間については、令和4年度より減少したが、平均値で360時間以内を達成できなかった。（令和3年度:500時間・令和4年度:468時間・令和5年度:432時間）減少傾向にあるが、全職員の達成に向けて引き続き条件整備や各学校での取り組みが必要である。

※「富良野市立学校における働き方改革推進計画」において、教育職員の時間外在校等時間の目標を1か月で45時間以内、1年間で360時間以内としている。